

経営比較分析表（令和3年度決算）

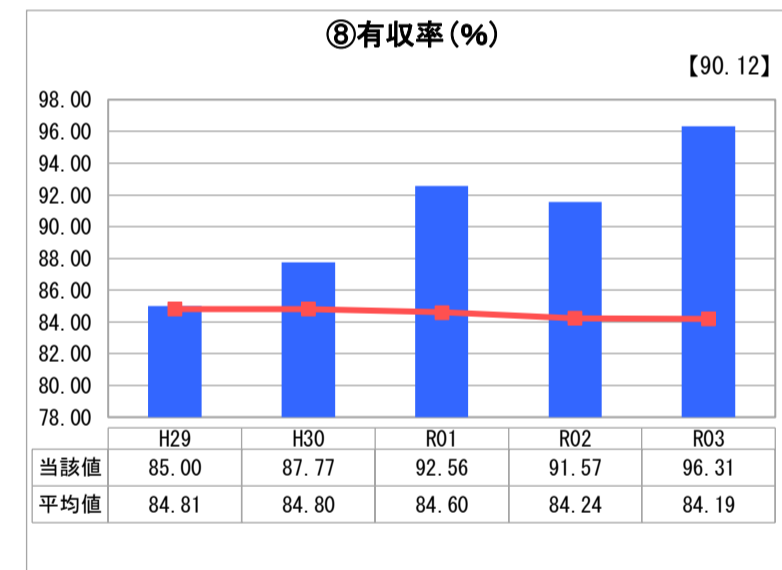
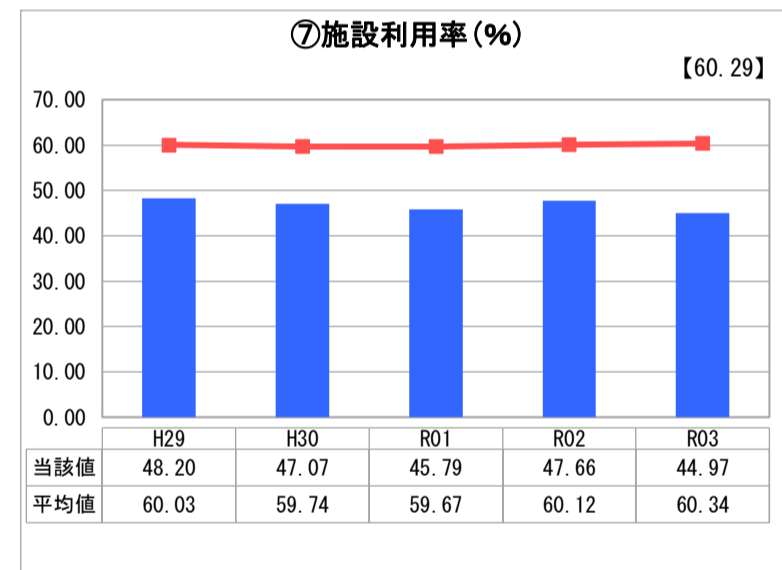
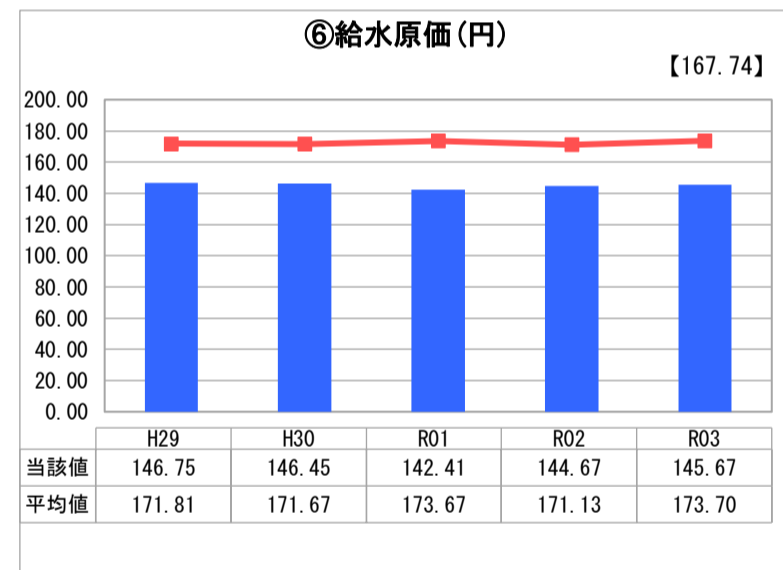
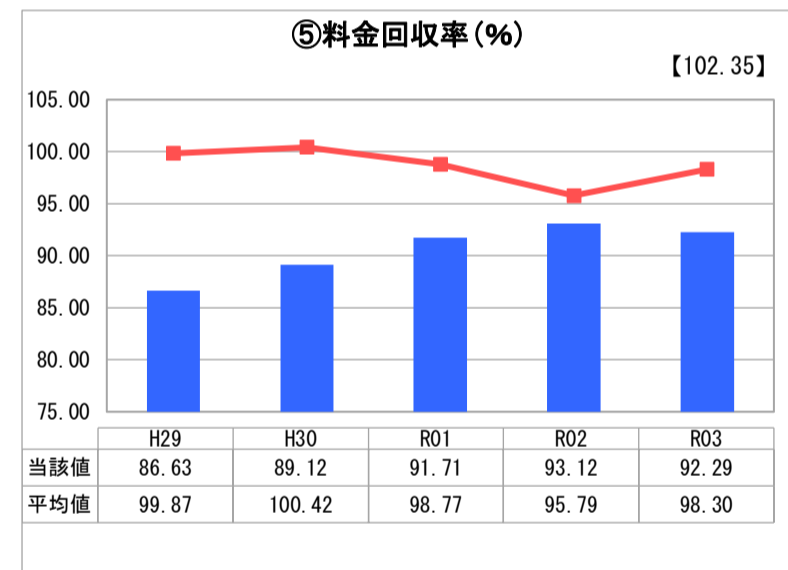
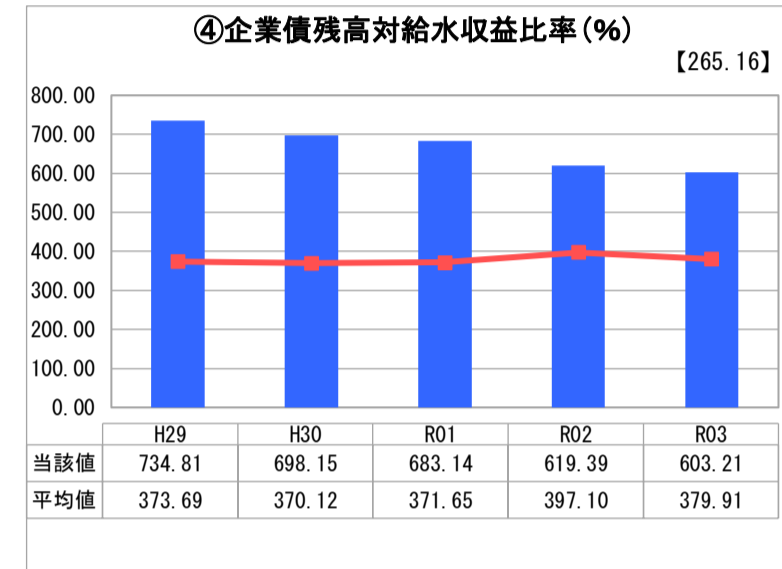
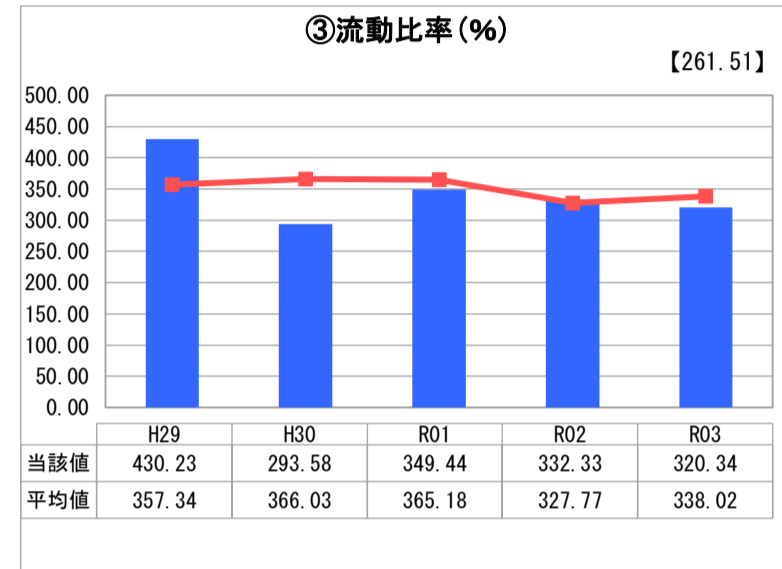
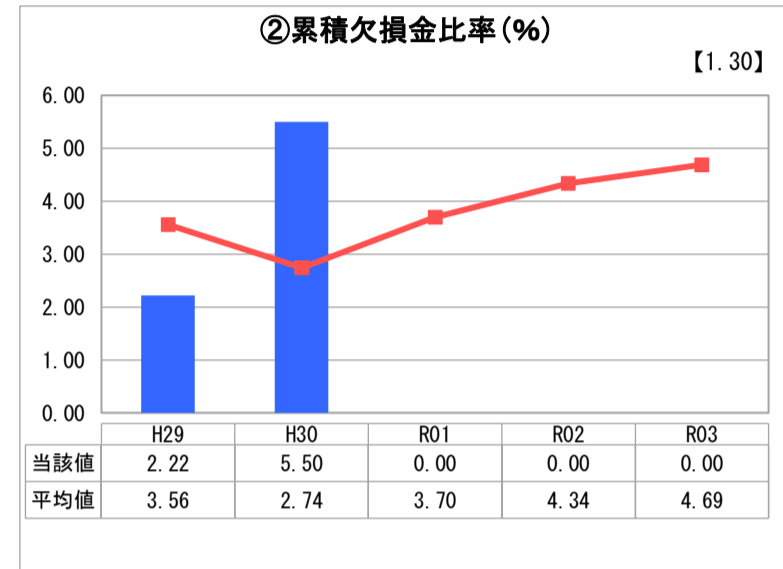
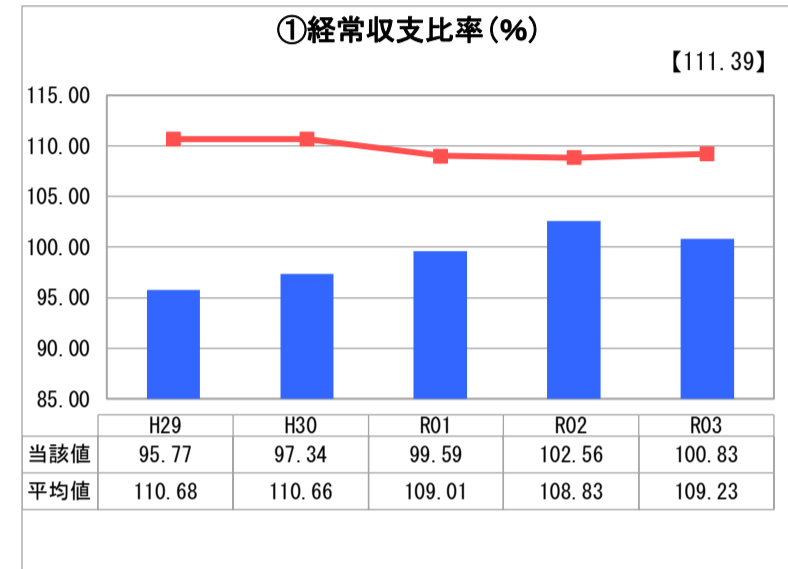
熊本県 益城町

| | | | | |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
| 法適用 | 水道事業 | 末端給水事業 | A5 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) | |
| - | 56.22 | 96.43 | 2,780 | |

| | | |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
| 33,488 | 65.68 | 509.87 |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km ²) | 給水人口密度(人/km ²) |
| 32,300 | 20.53 | 1,573.31 |

| |
|----------------|
| グラフ凡例 |
| ■ 当該団体値(当該値) |
| — 類似団体平均値(平均値) |
| 【】 令和3年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① ② 経常収支比率は、全国平均及び類似団体の平均値を下回っていますが、100%を超えており、累積欠損金比率もないことから、現時点では健全な経営水準であるといえます。

③ 流動比率は、類似団体平均値と比較すると僅かに下回っているが、300%を超えており、短期的な支払能力は十分備わっています。

④ 企業債残高対給水収益比率は、減少傾向にありますが、全国平均及び類似団体平均値を大きく上回っています。今後も計画的な事業の実施や経常収支とのバランスを考慮しながら財政運営を図っていく必要があります。

⑤ 料金回収率は100%を下回っており、給水に係る費用が給水収益以外の収入で賄われていることを示しています。

⑥ 給水原価は、全国平均及び類似団体平均値より安価な状況が継続しています。

⑦ 施設利用率は、全国平均及び類似団体平均値より下回った状況にあるため、施設の見直し等を検討する必要があります。

⑧ 有収率は、全国平均及び類似団体平均値より高い数値となっています。引続き計画的な老朽管の更新や漏水対策に取り組んでいきます。

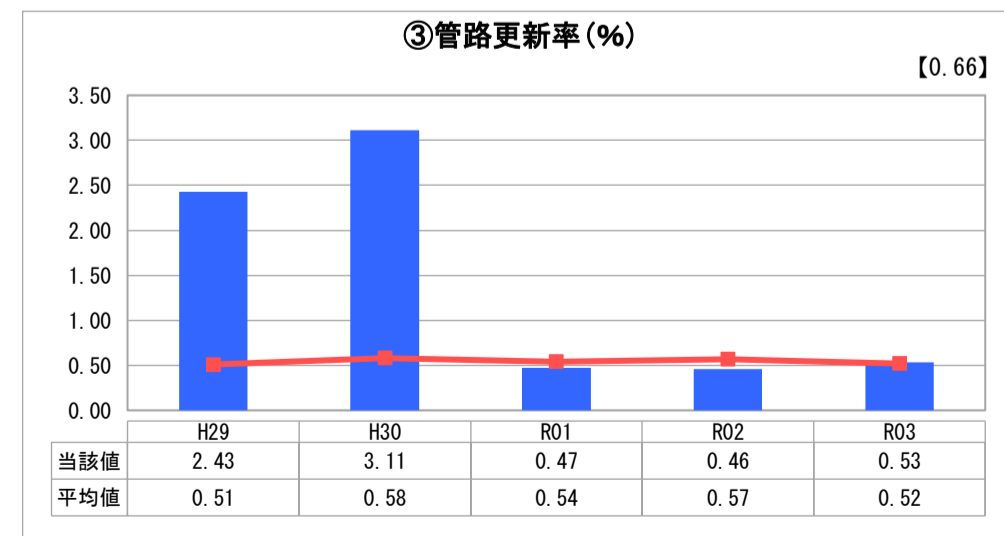
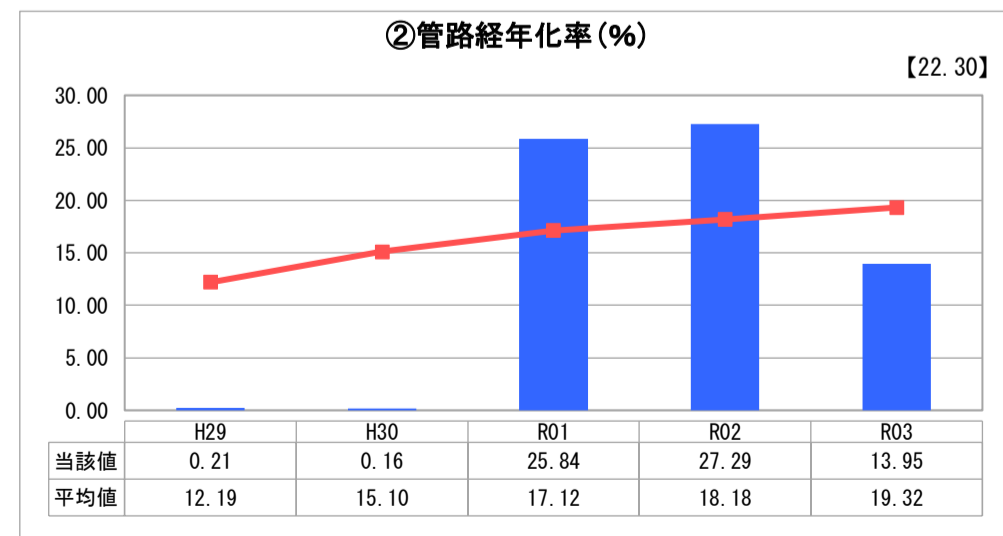
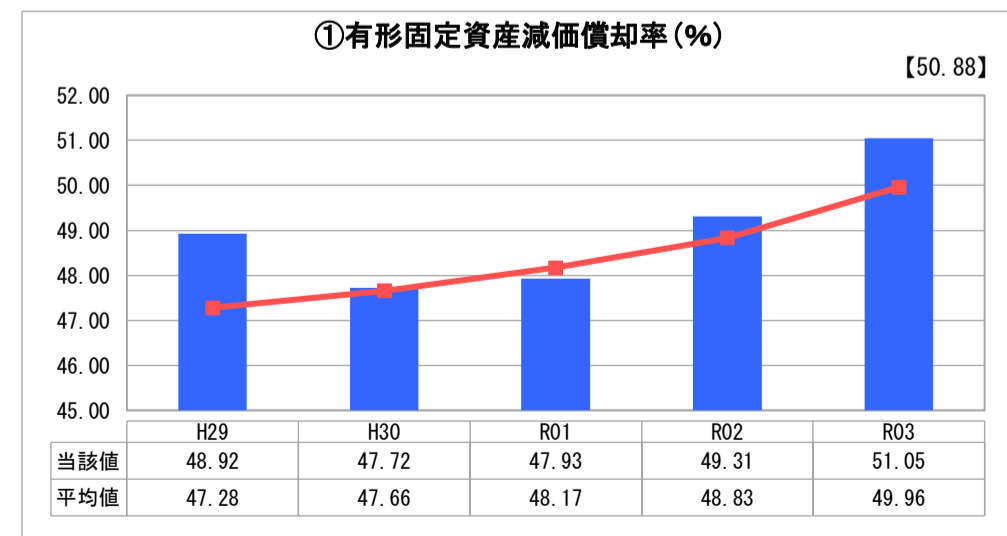
2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、近年比率が増加傾向にあるため、償却資産の老朽化が進んでいることがわかります。計画的に施設の更新を実施する必要があります。

② 管路経年率は減少していますが、これは布設年度不明管の布設年度が判明したことによるものです。引続き計画的な老朽管の更新に取り組んでいきます。

③ 管路更新率は、全国平均及び類似団体平均比でほぼ同程度の水準です。

2. 老朽化の状況



全体総括

今後も、当町の復興事業、耐用年数を経過した老朽管や施設の更新による建設改良費の増加が見込まれることから、経営状況の悪化が懸念されます。将来にわたり安定した経営を維持していくために、財政状況を考慮しながら、合理的かつ計画的な施設・管路の更新に取り組んでいきます。